

令和 8 年第 4 回伊丹市議会（定例会）
個人質問発言通告者順位表

令和 8 年 9 月 1 1 日 通告

発言順位	議員名	発言予定日	発言予定時間
1	花田康次郎	9 月 1 6 日（水）	1 5 時 2 0 分～1 6 時 1 0 分
2	齊藤 真治	〃	1 6 時 1 0 分～1 7 時 0 0 分
3	戸田 龍起	9 月 1 7 日（木）	1 0 時 0 0 分～1 0 時 5 0 分
4	前田伸一郎	〃	1 0 時 5 0 分～1 1 時 4 0 分
5	竹村 和人	〃	1 3 時 0 0 分～1 3 時 5 0 分
6	加柴 扶美	〃	1 3 時 5 0 分～1 4 時 4 0 分
7	原 直輝	〃	1 5 時 1 0 分～1 6 時 0 0 分
8	泊 照彦	〃	1 6 時 0 0 分～1 6 時 5 0 分
9	鈴木久美子	9 月 1 8 日（金）	1 0 時 0 0 分～1 0 時 5 0 分
1 0	山藺 有理	〃	1 0 時 5 0 分～1 1 時 4 0 分
1 1	松浦 晴美	〃	1 3 時 0 0 分～1 3 時 5 0 分
1 2	岸田真佐人	〃	1 3 時 5 0 分～1 4 時 4 0 分
1 3	大江ひろと	〃	1 5 時 1 0 分～1 6 時 0 0 分
1 4	北原 速男	〃	1 6 時 0 0 分～1 6 時 5 0 分
1 5	高塚 伴子	9 月 2 4 日（木）	1 0 時 0 0 分～1 0 時 5 0 分
1 6	篠原 光宏	〃	1 0 時 5 0 分～1 1 時 4 0 分
1 7	鈴木 隆広	〃	1 3 時 0 0 分～1 3 時 5 0 分

※議事の都合により、発言日時が変更となることがありますのでご注意ください。

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. ホテル建設予定地の市有地の売却について	
(1) 随意契約する理由について	
(2) 事業者への働きかけについて	
(3) 三羽の友鳥オブジェの移設について	
2. 電気バスについて	
(1) 費用面について	
(2) 運用面について	
(3) 今後の見通しについて	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	市長、事業管理者、担当部長

上記のとおり通告します。

令和 8 年 9 月 7 日

伊丹市議会議長 加藤 光博 様

伊丹市議会議員 花田 康次郎

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. 伊丹市の中心市街地の活性化	
1) 中心市街地活性化基本計画の再申請	
2) 旧伊丹シティホテル跡地の開発と連携	
3) 市バスとの連携	
4) 空き店舗事業の実績と現状	
2. 伊丹市における競争入札の最低制限価格の開示方法及びその在り方	
1) 最低制限価格の開示方法及びその在り方	
2) 現在の入札状況と「くじ引き落札」の現状	
3) 価格収束と健全な競争性	
4) 地元事業者の「積算能力向上」と「施工品質確保」	
5) 国の方針を踏まえた「事後公表への移行」に関する検討状況	
6) 地元事業者の健全な育成	
7) 近隣他市との事前公表及び健全な地元事業者育成の違い	
8) 事後公開へ移行した場合の「入札不調対策」	
3. 伊丹市の都市ブランド戦略推進	
1) 市バス及びスーパーマーケットなどの生活利便性	
2) 清酒発祥の地に因んだ大使等や検定の設置や商工会議所との連携	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	市長・関係部長

上記の通り通告します。

令和8年9月11日

伊丹市議会議長 加藤 光博 様

伊丹市議会議員 齊藤 真治

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. 上下水道事業について	
1) 近隣自治体における料金改定の状況や背景	
2) 「水道ビジョン2035」で示された水道料金改定の見込み	
3) 持続可能な水道事業を維持していくための取組	
4) 本市における下水道管路の全国特別重点調査結果と今後の対策の進め方	
5) 下水道管路の耐震化の状況と今後の耐震化の進め方	
2. 防災について	
1) 本市の防災会議の女性委員の割合	
2) 避難所運営における女性の必要性	
3) 本市の避難行動要支援者の定義	
4) 避難行動要支援者名簿の作成状況と名簿の実効性の担保	
5) 個別避難計画の作成状況	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	市長 事業管理者 担当部長

上記のとおり通告します。

令和8年9月9日

伊丹市議会議長 加藤 光博 様

伊丹市議会議員 戸田 龍起

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1、医療的ケア児支援法の改正を踏まえた切れ目のない地域支援体制について	
・「18歳の壁」を打開する成人期以降の支援の推進	
・家族のケア負担解消に向けた「夜間ケア・レスパイト」等を含む 家族支援の拡充	
2、幼児教育(公立幼稚園)の今後の方針について	
・公立幼稚園が果たしてきた役割及びこれからの役割	
・募集停止、統廃合に関する基本的な考え方	
3、幼保小の架け橋期の取組について	
・架け橋期カリキュラム(5歳児版、小1版)の振り返り	
・子どもの「気質」の可視化のツールやデータの活用	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	市長、教育長、担当部長

上記のとおり通告します。

令和8年 9月 10日

伊丹市議会議員 加藤 光博 様

伊丹市議会議員 前田 伸一郎

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1、救急搬送体制の充実について	
～ 安心して救急医療を受けられる体制の構築を ～	
(1)救急安心センターひょうご事業(#7119)の運用	
(2)熱中症による救急搬送	
(3)救急搬送体制及び救急搬送の質の向上	
(4)救急ワークステーション	
2、いつまでも元気で、いきいきと暮らせるまちへ	
～ これからの伊丹市の高齢者施策について ～	
(1)これまでの高齢者支援は、十分に届いているのか	
(2)これからの高齢者施策	
(3)フレイル予防	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	市長・関係部長

上記のとおり通告します。

令和 8 年 9 月 1 1 日

伊丹市議会議長 加藤 光博 様

伊丹市議会議員 竹村 和人

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1・生活扶助基準引下げを違法とした「最高裁判決」を受けての伊丹市の対応	
① 「最高裁判決」後の国からの補償に対する通知時期と対応開始時期	
② 生活保護費追加給付についての市民への周知方法	
③ 伊丹市全体の追加給付世帯	
④ 伊丹市全体での給付総額	
⑤ 申し出の申請期限	
⑥ 給付開始時期及び保護費追加給付決定通知書の内容や書式が市町村により異なることについて	
⑦ ケースワーカーが担当する標準世帯数と現状	
2・下水道事業へのウォーターPPP 導入計画と現状	
① 市民への周知方法	
② パブリックコメントに寄せられた市民からの不安や懸念の声への対応	
③ 事業計画の長いスパンの中でやむを得ない理由での構成員、業者の撤退などが生じた場合の対応方法	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	市長、事業管理者、関係部長

上記のとおり通告します。

2026年 9月 11日

伊丹市議会議長 加藤 光博 様

伊丹市議会議員 加柴 扶美

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
④ウォーターPPP 導入による財政上のメリット、デメリット	
3・近畿中央病院の跡地活用と地域医療	
① 市立伊丹病院で急性期を脱した患者を受け入れる医療機関は充足しているのか、又、現状について	
② 新たな地域医療構想では、現在の4つの病床機能がどのように変わるのか	
③ 伊丹市の医療需要に対して、どのように進めようとしているのか	
④ 「公立学校共済組合近畿中央病院の跡地活用に関する覚書」の有効性、効力及び今後の伊丹市の関わりについて	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	市長、事業管理者、関係部長

上記のとおり通告します。

2026年 9月 11日

伊丹市議会議長 加藤 光博 様

伊丹市議会議員 加柴 扶美

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. 若者・現役世代に選ばれるまち伊丹について	
・ 転入・転出における「選択の理由」の把握	
・ 未来デザインワークショップで見た本市の強みと課題	
・ 未来デザインワークショップにおける世代・立場ごとの意見	
・ 未来デザインワークショップを通じた新たなきづき	
・ 未来デザインワークショップで得られた意見の今後の施策等への反映	
・ 若者・現役世代に選ばれるまちづくりに向けた市長の見解	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	市長、事業管理者及び関係部長

上記のとおり通告します。

令和 8 年 9 月 11 日

伊丹市議会議長 加藤 光博 様

伊丹市議会議員 原 直輝

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. 『伊丹市は都市型水害への備えは万全なのか』について	
2. 『防災対策の一環による学校プールの活用』について	
3. 『高齢者が望む生活スタイルの持続と在宅療養を繋ぐ訪問看護の必要性』について	
4. 『ケアマネジャーのシャドーワーク常態化問題』について	
5. 『SNS の利用年齢への見解』について	
6. 『広報伊丹の必要記載枠は妥当なのか』について	
7. 『市内街区公園に於けるボール遊びの許認可の仕組みと新しいルール作り』について	
8. 『伊丹市の財産である柿衛文庫松尾芭蕉の俳句原本は哭いている』について	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	中田市長、桺村副市長、太田教育長、各事業管理者、各部長

上記のとおり通告します。

令和 8 年 9 月 11 日

伊丹市議会議長 加藤 光博 様

伊丹市議会議員 泊 照彦

發 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
9. 『自治会の必要性を知ってもらうのには何が必要なのか』について	
10. 『小学校区自治協議会発足後、子ども会の組織率は上がったのか』について	
11. 『共働き世帯での学びを育む子どもの夏休みの在り方』について	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	中田市長、桝村副市長、太田教育長、各事業管理者、各部長

上記のとおり通告します。

令和 8 年 9 月 11 日

伊丹市議会議長 加藤 光博 様

伊丹市議会議員 泊 照彦

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. 青少年の健全育成	
(1) 少年補導委員連合会の運営及び会費等	
(2) 少年育成協会の運営、補助金及び会費等	
(3) 少年補導委員の選出及び関係団体との関係	
(4) 少年補導委員制度の現状と今後のあり方	
2. せつよう幼稚園跡地の売却と今後の土地利用	
(1) 一般競争入札による売却結果の評価	
(2) 今後の開発及び住宅整備の見通し	
(3) 開発に伴う児童の安全確保	
(4) 新たな住民と地域コミュニティとのつながり	
(5) 開発に伴う周辺住環境への影響と対応	
3. 福祉人材の確保と市の役割	
(1) 「福祉人材」の定義と位置づけ	
(2) 福祉現場における人材不足の実態把握	
(3) 福祉現場の課題を市の施策につなげる仕組み	
(4) 福祉人材確保における市の役割	
方 式	☐ 総括方式 ☒ 一問一答方式
答弁を求める者	市長・副市長・教育長・関係部長 等

上記のとおり通告します。

令和 8年 9月 10日

伊丹市議会議長 加藤 光博 様

伊丹市議会議員 鈴木 久美子

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨

旧市営荒牧第 6・第 7 団地解体工事と住民への事前説明について

旧市営荒牧第 6・第 7 団地では、同時期に大規模な解体工事が進められている。当初、近隣住民への説明会を行わず工事を進めようとした経緯と、自治協議会からの陳情や住民説明会で出された地域の声をどのように工事へ反映したのかを伺う。また、今後の公共工事における近隣住民への事前説明や意見聴取のあり方について伺う。

誰もが安心して利用できる市バスの環境整備について

車椅子利用者の利用実態を踏まえ、安全で円滑な乗降に向けたバス停の乗降環境や停車位置、車内固定、乗務員研修について伺う。また、JR 伊丹駅バス降車場の上屋整備を含め、降車後の移動環境の改善について伺う。

局地的な集中豪雨に対する内水浸水対策について

8 月 28 日未明の大雨では、市内で道路冠水が発生した。そこで、冠水・浸水状況の把握や市内共有の現状、市民から提供される写真等も含めた実績情報を一元的・継続的に蓄積し、今後の浸水対策に活用する仕組みについて伺う。また、止水板等の設置支援など、市民の自助を後押しする取組について市の見解を伺う。

方 式	☐ 総括方式 ☒ 一問一答方式
答弁を求める者	市長、事業管理者、担当部長など

上記のとおり通告します。

令和 8 年 9 月 11 日

伊丹市議会議長 加藤 光博 様

伊丹市議会議員 やまぞの 有理

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1、災害時における応援職員の受入れ体制について	
①受援計画の策定状況	
②必要人員の事前把握	
③応援要請の判断基準と要請ルート	
④応援職員受入れ後の体制	
⑤自治体間の相互応援協定	
⑥受援訓練	
2、視覚障がい者への訪問型歩行訓練について	
①進行性視覚障害への認識	
②再訓練の実績と理由	
③負担設定の理由と他市の取組認識	
④今後の制度見直し	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	市長、各関係部長

上記のとおり通告します。

令和 8 年 9 月 11 日

伊丹市議会議長 加藤 光博 様

伊丹市議会議員 松浦 晴美

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1、 <u>スクールカウンセラーの増員を！</u> メンタルケアが必要な児童生徒・保護者が増えている。現場ではスクールカウンセラーの需要も増加している。スクールカウンセラーの勤務時間を増やすべきと考えるが見解を伺う。 2、 <u>学校では牛乳パックを可燃ごみに！</u> リサイクルは大切だが、下水や教育環境への負荷を考えるべきだと考える。実情に応じて可燃ごみも可能にすべきと考えるが見解を伺う。 3、 <u>不登校支援で近隣市と連携を！</u> 全国的に「学びの多様化学校」が増えている。今年度開校の尼崎市や来年度開校予定の豊中市へ伊丹市の児童生徒も通学できるようにできないか伺う。	
方 式	総括方式
答弁を求める者	市長、教育長、関係部長

上記のとおり通告します。

2026 年 9 月 7 日

伊丹市議会議長 加藤 光博 様

伊丹市議会議員 岸田 真佐人

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1.【「令和7年度決算における財政力指数の低下」について】	
1) 財政力指数の低下傾向が及ぼす本市財政運営への影響	
2.【「兵庫県の起債許可団体移行が本市財政に与える影響等」について】	
1) 兵庫県の起債許可団体移行に伴う本市への影響と対応方針	
2) 県財政の動向を踏まえた本市の中長期的財政リスクの把握と 持続可能な財政運営に向けた備え	
3.【「化学物質過敏症の方への避難所における対応」について】	
1) 地域防災計画上の位置づけ	
2) 避難者の個別の状況に応じた対応についての市の認識	
以上	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	市長、副市長、関係部長

上記のとおり通告します。

令和8年9月11日

伊丹市議会議長 加藤 光博 様

伊丹市議会議員 大江 ひろと

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. 「公営住宅について」	
(1) 市営住宅入居者の現状等	
(2) 老朽化に伴う課題	
(3) 今後の公営住宅政策	
2. 「旧伊丹シティホテル北側市有地の売却について」	
(1) 随意契約等に至った経緯	
(2) 売却予定価格等	
(3) 売却後の計画等	
3. 「ボランティア休暇について」	
(1) ボランティア休暇制度の概要	
(2) 制度環境整備の必要性に係る認識	
(3) 今後の制度見直しに係る見解	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	担当部長等

上記のとおり通告します。

令和 8 年 9 月 10 日

伊丹市議会議長 加藤 光博 様

伊丹市議会議員 北原 速男

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. 市内の中小企業の振興について	
— 中小企業が抱える課題にどう向き合うか	
①雇用問題	
②景観条例の障壁	
③東有岡地区の工場集積地内の環境整備	
④入札制度の在り方	
⑤産業都市伊丹のアピール	
2. 伊丹市男女共同参画に関する事業所意識調査について	
①事業所意識調査の概要、見えてくる課題	
②伊丹市ヒューマンリソース戦略の策定に向けての資料から	
③共通の傾向に対する、男女共同参画課の認識と対応策	
④調査結果をどう生かすか	
3. 伊丹市の終活支援の取り組みについて	
①現在までの取り組みについて	
②社会福祉法等の一部を改正する法律(令和 8 年法律第 51 号)を受けて	
③事業の担い手、開始時期等	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	市長・副市長・教育長・担当部長

上記のとおり通告します。

令和 8 年 9 月 11 日

伊丹市議会議長 加藤 光博 様

伊丹市議会議員 高塚 伴子

發 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. 多重債務を抱える生活困窮者に対する生活再建について	・本市における取組状況と実績 ・早期相談につなげるための本市の考え方
2. 学校給食費の無償化に伴う、非喫食児童生徒への公平性に対する見解	
3. 伊丹市の大雨、豪雨災害に対する雨水排水対策、及び内水氾濫リスク	
方 式	☒ 総括方式 ☐ 一問一答方式
答弁を求める者	教育長、事業管理者、関係部長

上記のとおり通告します。

令和8年9月11日

伊丹市議会議長

加藤 光博 様

伊丹市議会議員 篠原 光宏

発 言 通 告 書

(質 問)

発 言 の 要 旨	
1. 『伊丹郵便局前』バス停付近の「自転車や歩行者に関わる通路幅の縮小」に伴う通行者の安全確保	
道路管理者である兵庫県の宝塚土木事務所の実質的な通路幅の減少に伴う安全性低下に対する県の具体的認識と了承の有無、さらには、市の現状認識について問う	
2. 旧伊丹シティホテル前のオブジェ移設と、それに関わるサークルベンチ新設に伴う通行者の安全確保	
人口密度や自転車利用率が高く、障害物や動線が複雑に入り組む移設予定地を、現状どう認識しているか問う	
方 式	☐ 総括方式 ☒ 一問一答方式
答弁を求める者	関係部長等

上記のとおり通告します。

令和8年9月11日

伊丹市議会議長 加藤 光博 様

伊丹市議会議員 鈴木 隆広